

仙人通信 176 横根山(1373m)・井戸湿原

横根山は、足尾と鹿沼との中間に座し、小峰原高原等の前日光の山脈で、2等三角点の山である。井戸湿原は、横根山に隣接した小さな湿原であるも、豊富な植物群で有名である。足尾と栃木を結ぶ県道15号の粕尾峠から前日光ハイランドロッジに向かい、横根山→五段の滝→井戸湿原→象の鼻展望台を廻るコースとした。

広大な牧場の尾根の上に前日光ハイランドロッジはあり、遠くからでも目立つ存在だ。駐車場の先にある横根山を示す道標に従い、牧場の中を尾根伝いにある丸太作りの階段を登る。尾根から南側は柵で仕切られた雑木林で、ヤマツツジが咲き乱れている。北側眼下は播鉢状に牧場が広がり、その中を象の鼻へと繋がる白い道路が印象的である。足元ではハコベに似た白いナズナ・黄色いキジムシロ・紫のサギゴケが綺麗だ。

10分程で林道のゲートがあり、ここから横根山への林の中のコースを進む。赤橙のヤマツツジの花のトンネルの始まりだ。足元はチャートや石英閃緑岩の岩がゴロゴロするも良く整備されている。林の中からは、ハルゼミの大合唱である。10分程で、休憩ベンチが配備された2等三角点の横根山山頂だ。休憩後、唐松とヤマツツジの中を進むと、無線の中継所だ。僅かに下ると水が湧き出した所があり、花芽を持ったコバイケイソウが目立つ。

山頂から10分程下った所には、湿原の植物を鹿の害から守る為、湿原を取巻く様に設けたプラスチック製の網と、そのゲートである。更に進むと三叉路となり、湿原を右手に見ながら進むと10分程で次のゲートだ。五段の滝は、このゲートから出て更に10分程で到着だ。湿原から流れ出た水が、せせらぎ状に落ちる小さな滝である。15分程網の外を時計廻りに進む。最盛期を過ぎたアカヤシオ・シロヤシオも綺麗だ。再度ゲートを入り湿原の対岸に出る。150m程の木道が設けられており、湿原を見る事が出来た。この時期ワタスゲが咲いて居るも10m以上離れた地点で眺めるのみ……。沢山あるコケ類は、これから発芽である。先程の対岸に戻り進むと赤と白のツクバネウツギ・赤いレンゲツツジが、湿地の中にはハタザオだろうか白い花、そして15m程先にワタスゲの群落を見る事が出来た。再度ゲートを出て分岐から20分程登ったT字路の手前に仏岩だ。尾根状のコースを10分程で象の鼻展望台だ。若干曇り空ではあるが、赤城・袈裟丸・皇海・白根・男体・女峰山等の山脈を望む事が出来た。又ハイランドロッジに止めた小生の車も確認できた。象の鼻の大きな岩は、確かに象の顔だ。石英閃緑岩で1億年程前に地下のマグマが隆起して出来たと説明板にある。サラサドウダンツツジが咲く尾根道を仏岩まで戻り、湿原・横根山等の分岐まで進んだ後、左手にある林道をハイランドロッジに向け車に戻った。ロッジの横では、スズランに迎えられた花に埋まった2時間半(11000歩)の山旅でした (h30.5.29)

横根山山頂



五段の滝



ヤマツツジの咲く湿原



象の鼻

